

この春はドッグスポーツ満開!! 担当：仲村康平（本院 トレーナー）

ドッグスポーツとは、犬が元来持っている本能を活用して人と共に体を動かし、ルールを守って楽しむスポーツのことです。その種類は、フライボールやアジリティ、ハードル、ハイジャンプ、ディスクドッグなど一口に「ドッグスポーツ」と言っても多くの競技や特性があります。その中でも健康な体とディスク1枚さえあれば始めることが出来るディスクドッグはドッグスポーツのなかで、最も手軽な競技と言えるでしょう。そして、この手軽さが魅力となり、年々競技人口は増加しています。また、競技レベルも向上し、世界大会が開催されるくらい規模も大きくなっています。

目指せ!!! 「ディスクドッグ」!!!

「ディスクドッグ」とはどんなスポーツかという、ディスクを人が投げ、犬がそのディスクを口でキャッチするというものです。



ディスクドッグは何から始めればいいのか?

ディスクドッグをするときに最初にするのは、まず犬にディスクのことを大好きにさせることです。どんなに啜えるのが上手でも、追いかけるのが得意でも、ディスクに興味が無ければどうしようもありません。そのためディスクを好きなことが第一条件になります。最初からディスクが好きな子は問題ないのですが、そうではない子も多数います。そういう子の場合で、ご飯が好きな子はディスクを

食器の代わりにしてご飯を与えるようにします。ディスク以外のおもちゃで遊ぶのが好きな子は、そのおもちゃで遊ぶのを止めて遊ぶときは常にディスクで遊ぶようにしていき、少しでも啜えたり、興味を示したりしたら、大げさに褒めるようにしていきます。これ続けていくと、個体差はありますが徐々に興味を持つようになり、好きになっていくでしょう。



ディスクドッグの注意点もあります

ディスクドッグは走ったり飛んだりするスポーツなので、関節や脊椎などに病気を抱えている場合は残念ながらできません。また、身体作りをしている状態の時に無理をさせてはいけませんので、犬種などによっても異なりますが、10カ月を越えるくらいまでは、ジャンプなど控えたほうが良いでしょう。

そして、どのような子の場合でも、日頃から健康に気を配り、無理のない範囲で行うことが大切です。向き不向きはありますが、どんな犬でも練習すればディスクドッグになる

可能性を秘めています。

また、教えていく過程で愛犬のしつけのトレーニングにもなり、一緒にすることによって、愛犬との最適なコミュニケーションの機会にもなります。勝ち負けにこだわらず、愛犬と楽しみながらディスクドッグにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか?



太っていいことなんかナイ!!



担当：山田浩代（本院 獣医師）

私たちの食べ物を欲しがる顔を見るとついつい...という飼主さんは少なくないと思います。「ほんの少しだから」と思われるかもしれませんが、その少し少しが小さな体のワンちゃんやネコちゃんにとっては過剰摂取になっているのです。🍲
そしてその積み重ねが大きな病気を招く結果になってしまいます。🏥



糖尿病

飼主さんが気づく症状は主に、お水を飲む量が増えた、おしっこの量が増えた、食欲はあるのに体重が減ってきた、などがありますが、この症状に気づく頃にはすでに病気は進行していることが多く、ほとんどの場合、食事療法や飲み薬では

間に合いません。ですから入院での集中的な治療やインスリン治療を行うこととなります。重症の場合は、激しい嘔吐、食欲不振や昏睡を引き起こし、死に至ります。また、白内障を引き起こして失明することもあります。

関節への影響

肥満は常に重い荷物を背負っているのと同じ様な状態なので、関節への負担も大きくなり、炎症などを引き起こしやすくなります。

“十字靭帯”という後ろ足の膝の靭帯を痛め、靭帯が断裂してしまうこともあります。この場合、治療は外科手術が必要になります。

また、肥満は腰にかかる負担も大きくなるので、椎間板ヘルニアにもなりやすくなります。病状は程度によって異なりますが、痛みや腰がふらつくといった軽いものから、下半身麻痺や突然の呼吸困難から死に至るといった重いものまでさまざまです。🐻

循環器障害

体脂肪が増加するとその分毛細血管も伸びていきます。すると心臓は伸びていった遠くまで血液を送り出そうとします。🐻つまりそれだけ心臓は余分に働かなくてはいけないので、心臓に大き

な負担がかかるのです。ひどくなると、むくんだり、お腹や肺に水が溜まり、咳が出たりします。心不全におちいると、最終的には呼吸困難で死亡してしまうこともあります。

呼吸器障害

太っていると脂肪によって気管が圧迫され、空気がスムーズに通らなくなってしまうので、呼吸が速くなったり、咳が出たりします。

パグやシーズーなど鼻の短い犬種に多く見られる“軟口蓋過長症”も肥満によってひどくなります。これは、上あごの奥の柔らかい皮膚がたるんで垂れ下がることで気管をふさいでしまうため、

呼吸しづらくなる病気です。脂肪によってさらに空気の通り道が狭くなり、常にガーガー音を立てて速く呼吸するようになります。

また、小型犬に多く見られる病気で、気管が狭くなり、激しい咳や呼吸困難を引き起こす“気管虚脱”も肥満によって起こりやすくなります。

食事管理のポイント 🐻

- ・ 体重を減らしても、脂肪以外の身体の組織を維持するために、良質のタンパク質が必要量含まれている食事を与えましょう。
- ・ 摂取カロリーは減らしても、健康を維持するための栄養素は必要です。必須栄養素がバランスよく含まれていて、かつ低カロリーの食事を与えましょう。



動物病院ではダイエット用の処方食をご用意しております。お困りの方はご相談下さい。



どうしてですか？お耳のお手入れ 担当：松原 加世子（上社 AHT）

みなさんは日頃ワンちゃんのお耳のお手入れは、どうされていますか？耳のお手入れを怠っていると、汚れや耳垢がたまり炎症を起こして、耳の病気になりやすくなる場合があります。そうなる前に、日頃から時々耳のチェックをするように心がけ、もし汚れているようなら日頃からお手入れをしてあげるとよいでしょう。



お手入れの方法



1

洗浄液を耳の中に適量入れます。



2

耳の付け根を何度か揉みます。




3

そのあと手を離すと、自分で頭を振ってくれます。振らなければ、耳の孔に息を吹きかけて振るよう促して下さい。



4

出てきた汚れをコットンで指が届く範囲でよいので軽く拭き取ります


このお手入れを一週間に1～2回程度することで軽い汚れや耳垢はとれます。ただし、このとき綿棒を使うのはおすすめできません。 なぜなら綿棒だと、汚れを耳の奥に押し込んだり、耳道内を傷つけてしまう恐れがあるからです。



 お耳洗浄液「エピオティック」125ml ¥2,520



現在お耳の治療中のワンちゃんは？

獣医師の指示にしたがってお手入れをして下さい。
また、お家でシャンプーした場合は、しっかり水気をとって耳の中がむれないようにしましょう。むれると耳の中の細菌が繁殖して炎症が起きやすくなります。プードルやシュナウザーなど耳の中に毛が生える犬種も、耳の毛をそのままにしておくと、むれて病気の原因につながりやすくなりますので、トリマーや獣医師に定期的に抜いてもらうと良いでしょう。



ワンちゃんの耳が臭かったり、頭をしきりに振るなどお耳を気にするような様子があればお早めにご相談ください。

「おすすめ本」の紹介します！

担当：安藤寛恵（本院 AHT）

はじめまして！ほくのなまえはピボ。

発行元：アニコムパフェ(株) 著者：ラミティエ 絵：山村真代

みなさんが初めてワンちゃんを、家族の一員として迎えられた日のことを覚えていますか？家族で悩んだ名前、トレーニングの本を夢中になって読んだこと、ワンちゃんとのおでかけプラン…。人と動物がしあわせに暮らす為に、忘れてはならない大切なことはなんでしょう？ワンちゃんが大きくなり、楽しい生活の中に悩みはあるものです。みなさん小型犬だからといって「しつけ」から目をそらしてはいませんか？連れて出る先には、ワンちゃんが苦手な方も当然いらっしゃいます。いろいろな方に愛されるワンちゃんを育て、楽しい生活を一緒に過ごせられますように・・・。



ジミー兄弟が行く！！

担当：安藤寛恵（本院 AHT）

西加茂郡三好町にある「デイサービスまんまるみよし」にお邪魔致しました。

こちらでは、初めての ワンちゃん訪問ということもあり、利用者みなさんがとても楽しみにしてください、笑顔と拍手で私たちを迎えてくださいました。



ジミーおにいちゃん、以前に他のデイサービス訪問の経験がありますが、ジミー兄弟は初めての経験で少々緊張していたようです。

ジミー兄弟のところに飛んできて抱きしめて下さったおばあちゃま、ジミーたちがそばに寄ると笑顔を見せて下さるおじいちゃま。動物とのふれあいがこんなに人の気持ちを動か



すのかと実感いたしました。

ジミー兄弟は、最近のゴールデンレトリバーの中でも骨格が大きい方なので、みなさんに怖がられては

しまわないかと心配もありましたが、ワンちゃんがお好きな方ばかりで、ジミー兄弟にたくさんお話をしてくださいました。みなさん

と触れ合っていくうちに、ジミー兄弟も馴染み、車椅子をお使いの方にはこのように撫でていただくんだな！とコツもつかめたようです。

セラピードッグのようにはいきませんが、利用者みなさんがジミー兄弟とのふれあいの時間の中で、本当たくさん笑顔を見せてくださったことが、私たちはとても嬉しく思いました。



動物とふれあうことで、みなさんが明るい気持ちになってくださったり、笑顔が少しでも増えてくだされば・・・という気持ちであります。



人が動物と一緒に居ることで「笑顔」が増える、励みや支えにもなり、実感している以上に大きな存在になると思います。改めて人とペットが共存していく意味の深さを感じました。

私たち松波動物病院グループスタッフは、これからもみなさまのお役にたてる、社会にも貢献できるような活動を少しずつながらもしていきたいと思っております。



よろしくおねがいします！「しつけ教室」の新しい先生です！



酒井結子トレーナー

松波動物病院グループの「しつけ教室」の先生が仲間入りしました。

トイレ、ムダ吠え、問題行動にお困りではありませんか？悩みを解決しないままにはいませんか？

みなさんの愛犬のしつけについての、お悩みやご相談は2人のトレーナーまでお気軽にお問合せください。

みなさんに楽しいトレーニングのご提案をさせていただきますので、よろしくおねがいいたします！！



佐藤直生トレーナー

- 松波動物病院(本院) 名古屋市天白区中砂町 515
TEL: 052-833-1111 <http://www.matsunami.co.jp/>
- 上社 ペットクリニック 名古屋市名東区上社 1-506
TEL: 052-776-1010 <http://www.matsunami.co.jp/kpc/>
- ベッツアニマルクリニック 瀬戸 愛知県瀬戸市東横山町 92 パロー新瀬戸ショッピングセンター1F
TEL: 0561-89-7400 <http://www.matsunami.co.jp/vacs/>